

行政事業レビューシート（環境省）							
予算事業名		化学事故総合対策検討調査		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁		環境保健部		担当課室	環境安全課	早水 輝好	
会計区分		一般会計		上位政策	化学物質対策の推進		
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		—		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		自治体の環境部局における化学物質による事故等の対応をさらに充実、強化していくことを通じて、安全・安心で質の高い社会の構築に貢献する。					
事業概要 （5行程度以内。別添可）		平成20年度に作成した「自治体環境部局における化学物質に係る事故対応マニュアル策定の手引き」を踏まえ、自治体の環境部局へのヒアリングや文献調査等により、化学事故時に地方自治体が行う対策の今後のあり方について検討を行う。					
実施状況		地方自治体の環境部局が実際に対応した化学事故の事例に関する情報収集・整理を行うとともに、「自治体環境部局における化学物質に係る事故対応マニュアル策定の手引き」との比較分析を行い、事故時の効果的な情報提供及び平常時から行うべきリスクコミュニケーションのあり方について検討を行った。					
予算の状況 （単位：百万円）			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額（補正後）	21	20	9	—	—
		執行額	12	7	2		
		執行率	57%	35%	22%		
		総事業費（執行ベース）	12	7	2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	各種事業を執行するにあたっては、事業実施計画の立案段階から請負者と綿密に打ち合わせを行うとともに、実行段階においても、電子メールや電話を用いた報告や相談を受けるなどして、連絡をとりつつ執行しており、化学事故に関する知見の収集や地方自治体における今後の対応に資する内容となっていることを把握している。					
	見直しの余地	事業計画の見直しを行い、平成21年度限りで終了した。					
予算・監視・所見率							
補記							

環境省
2百万円

化学事故総合対策検討調査

【一般競争】

A.(有)自然文化創舎
2百万円

化学事故総合対策検討調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.(有)自然文化創舎			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	化学事故総合対策検討調査	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0